【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

学校名

評価結果の概要

達成度(評価)

D:不十分である

A:十分達成できている B: おおむね達成できている

C:やや不十分である

鳥栖市立田代中学校

・昨年度の全国学力・学習状況調査において、学力の向上を見ることができており、今後も授業改善を継続したい。また、タブレット端末においては、校内研修等の成果として、大きく活用率が上がっている。今年度はより効率的な活用のあり方を全教科全領域で探りたい。

・本校は、500人を超える自転車通学生がおり、自転車運転のマナーの向上が継続した課題である。昨年度は幸い大きな事故はなかったものの、自動車、自転車同士の接触事故や転倒などの自損事故が20件程度発生した。本年度も交通安全教室を2度実施するなど交通安全意識の向上に努めたい。さらに全 |職員による継続した指導を行うとともに、 P T A や地域と連携して一層の安全教育の推進を図っていきたい。

・不登校や不登校傾向の生徒など学校不適応の生徒が増えてきており、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関とのより一層の連携を図ることが今年度の課題である。

2 学校教育目標

前年度

心豊かで、たくましく生き抜く力を身につけた生徒の育成

本年度の重点目標

①主体的、対話的で深い学びに向けた授業改善(魅力ある授業づくり、タブレット端末の有効活用)を通して、確かな学力の向上を図る。 ②よりよい人間関係づくりに基づき、自主的な活動や自己決定する場面を設定し、豊かな学校生活づくりを推進する。 ③ 基本的生活習慣の確立や安全教育の充実により、心身の健全な育成に努める。 ④家庭や地域との連携・協働を強化し、コミュニティ・スクールの推進・充実を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。 ⑤業務の効率化と時間外勤務時間の削減に努め、働 き方改革を推進する。

	き方改革を推進する。									
4 重点取組内容・成果技	内容・成果指標			中間評価	ī	5 最終	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
(1)共 通評 価項目										
重点取組										主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	〇(学校独自重点取組) ・タブレット利活用力の更なる向上を図る とともに、より効果的な場面での利活用を 目指した授業の改善を行う。	〇(学校独自成果指標) ・タブレット端末を週に3回以上使用したと	・AIドリル、ロイロノート利活用の推奨 ・タブレット端末を活用した研究授業の実施 ・小中連携の授業参観の実施		•		•		•	・学力向上コーディネーター・研究主任
●心の教育	感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	定的な回答をした生徒の割合が75%以上。	材研究にあたる。		•		•		•	·道徳教育推進教員 ·人権·同和教育担当
			・年10回以上のアンケートを実施 ・いじめいのちを考える日の毎月実施 ・週毎の生徒指導委員会にて、いじめ事 案の経過を確認する。		•		•		•	•生徒指導主事 •教育相談
	けて意欲的に取り組もうとするための教		習の展開やキャリアパスポートの効果的		•		•		•	·進路指導主事 ·各学年進路担当
	〇生徒会活動の活性化を通じて、支え合 う人間関係づくりを推進	○「仲間に対して思いやりの心で接し、優 しい言葉かけをしている」と回答した生徒 が90%以上	・生徒会の自主性を高める活動推進(各 種行事の実行委員会制、生徒集会のあり 方の見直し、校則の見直し等)		•		•		•	•生徒会担当
●健康・体つくり	❷「望ましい生活習慣の形成」	❸「健康に良い食事をしている」生徒70%以上	境づくりを絶えず行う。 ・田代スタイル(無言清掃・時間・あいさつ)の取り組みを、生徒会活動の活性化を通して推進する。		-		-		•	·部活動担当 ·生徒会担当 ·給食担当 ·家庭科主任
	○「安全に関する資質・能力の育成」	〇自転車のルール遵守とマナーアップを めざすとともに、自転車事故防止啓発を 強化し、事故件数を前年度比で50%以上 減少させる。	・PTAと連携して自転車点検や通学路点		•		•		•	•安全指導担当
●業務改善・教職員の働き 方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●時間外在校等時間の上限を遵守する。 (昨年度より5%縮減) ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人 当たりの年次休暇の取得日数10日以上	・管理職による職員の勤務実態の把握 ・会議・行事等を見直し縮減を図る。		•		•		•	•管理職
●特別支援教育の充実		〇(学校独自成果指標・任意) ・授業引継ぎファイルを活用し、生徒の特性に配慮した授業実践していると肯定的に回答した職員を70%以上にする。			•		•		•	・特別支援コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組		具体的取組	\$## Lil1	中間評価		最終評価		学校関係者評価	主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	→ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
〇小中一貫教育の充実	○教科「日本語」の実践充実	○教科「日本語」の学習に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした生徒が80%以上	・年間授業時数の確実な実施(1年生20 h、2・3年生35h) ・特別非常勤講師を招聘した体験活動の 充実(茶道、俳句・川柳等)		•		•		•	・教科「日本語」教育コーディネーター
〇コミュニティスクール(学校 運営協議会)の機能推進	等の推進	○地域人材の活用、地域貢献・奉仕活動	・本校の教育課題についての情報共有と課題解決のための連携・意見交換の充実を図る。 ・学校評価の活用		•		•		•	•管理職
●・・・県共通 ○・・・ 学校独自 ◎・・・ 志を高める教育										

5 総合評価・ 次年度への展望